

2020くでたらめな男の帰宅の顛末く 作川辺健
第1部 喫茶遊技場

登場人物

男

女

マスター

お玉

警官

外

男 まだ人少ないな

女 もうちょっと自粛したほうよかったんじゃない

男 いいんだって、解除されたんだから、誰にも文句言われたいの

女 そうだけど…

男 久々のデートなんだし、堂々と町出て、経済動かそう

女 でもねく

男 やっぱ開いてる店少ないか…

女 あそこ開いてる

男 どこ？喫茶遊技場？変な名前

女 喫茶店なんだよね

男 とりあえず入ろっか

女 ええく

男 喉渴いたしさ

店内

パチンコ屋さんのBGM

マスター いらっしやいませ、いらっしやいませ、いらっしやいませ

男 え

マスター お好きな台、いやお好きなお席どうぞ

男 いやすいません

マスター (聞こえない)

男 すいません！

マスター はい？

男 ここ喫茶店ですよ

マスター 勿論

女 喫茶店って書いてあったじゃん

男 だけど、なんですかこの音楽

マスター はい？

男 いや

マスター 音下げて

下がる

マスター はい？

男 なんですかこの音楽って

マスター はて、なんて曲なんですかね？

男 曲名はどうでもいいんですけど

マスター 有線なんでちょっと

男 有線なんだ、不謹慎ですよこのご時世に

マスター 近所からも苦情頂きました、パチンコ屋は自粛しろって、うち

喫茶店なんですけどね

女 ひどい話ですね

マスター いい迷惑ですよ

男 まあ誤解されるかもね、店名からしても

マスター わかりました自首します

男 自首はしなくていいですよ

マスター いいんですか？ミュージックスタート

BGM上がる

男　これがよくないもん

音、下がる

男　自首じゃなく自粛しましょう、こういうの

女　喫茶店なんだからいいんじゃない

男　だけど、なんか紛らわしいじゃんコレ

女　そうかな

マスター　すいません、久々に店開けたんでんやわんやで

男　自粛されてたんですね

マスター　はい

男　ようやく解除されたんですから、胸張って堂々と経済動かしましょう
マスター　そう言っていただけと頑張って自粛した甲斐があります、嬉
しいなく（眼鏡をとるとその部分だけ日焼けの差が見える）

男　あれマスター？

マスター　はい

男　なんかこんがり焼けてますね

マスター　え？

男　肌

マスター　ずっとステイホームでね、うん

男　ああ〜日当たりいい部屋に居ちゃったのかな

マスター　なんか腕の皮剥けちゃって

女　痛そう

マスター　やっぱオイル塗らないとダメですね〜、ステイホーム

男　説得力無いな

マスター　え？

男　いや、いいです、2人なんですけど

マスター　どうぞどうぞお好きな、台に

男　台って！

女　席の事だよ

男　わかるけど、ここ喫茶店ですよ

女 喫茶店だよ
男 でも台つて
女 いいから座ろう
男 席の事台つて

(座る)

テーブルに消毒液がある

女 消毒しよっか

男 お願い

女 (プシュプシュ)

男 なんかこれベトベトだな、なんだこれ、まいいや、メニューとか無いのかな、マスター

マスター はい

男 メニュー頂けますか

マスター ただいま(伸びる手みたいなやつでメニューを渡す)

男 なにしてんすか

マスター ソーシャルディスタンスで

男 ああ

マスター あ、ここにあつたんだ

男 マスターこの消毒液なんかベトベトしたんですけど

マスター いやこれサンオイルなんで

男 サンオイル！サンオイル！

マスター いっけね

男 いっけねじゃなくて、日焼けする気満々じゃないですか

女 じゃ私あんみつで

男 あんみつ！好きだった？じゃ俺は…ああ、あんみつと黒蜜しか無いんですか！

マスター 飲み物はセルフサービスとなっております、無料でございます

男 パチンコ屋みたいですね…

マスター システムパクられちゃって

男 こっちが先なんだ…じゃ僕黒蜜で

マスター 蜜ですね

女 はい

マスター 蜜です、蜜です

男 なんかやだなそれ

マスター ご注文繰り返します、蜜です、蜜です

男 ふざけてますよねもう

マスター 一緒に

マスター・女 蜜です、蜜です

男 不謹慎だ

女 なにカリカリしてるの

男 だってさ

マスター ただいまお作りいたします(退場)

男 なんだかな

女 (あたりを見回しサイン色紙を見つける) 結構有名人来てるみたいだ

ね…藤浪選手か

男 阪神の?すごいじゃん、こんな所に来るんだ

女 あとは…森三中も来てる

男 へ、へえ

女 石田…なんて読むんだろ

男 純一だろ!なんだこの並び、感染源ここなんじゃ無いよね

お玉 (パチンコの精のようなコスチュームであんみつと黒蜜を持ち登

場) お待たせいたしました

男 はや!

お玉 蜜なお客様

男 その言い方もなんか…ってなにその格好、パチンコ屋のマスコット?

お玉 蜜なお客様

男 聞いてないし

マスター お玉!

男 お玉っていうのこの子?なんすかマスターこれ

マスター マスクマスク

お玉 は

男 マスク以前の問題だよ

お玉 (マスクをする)

男 ドレミファドソみたいになってる、何、お手つきしたの？

マスター よし

男 よしじゃ無いし、ふざけてますよね

女 ごちそうさま

男 もう食ったの！

女 うん(もごもご)

男 うんって

マスター お客様、申し訳ございません、大声はお控え頂けますか

男 すみません、でもさ

お玉 マスター、あれ忘れてます

マスター なんだ？

お玉 これこれ(体温をはかる機械を出す)

マスター アチャッ

男 どうかしました？

マスター 申し訳ございません、お客様、ご入店前に確認する事項なのですが

男 ああ、はいはい

マスター 一度外へ出て入口で検便させて頂けますか

男 検便？

マスター はい

男 え、検便？

お玉 マスター、検尿です

マスター そっちなか

男 どっちも違うよ、検温でしょう、検温、その手に持ってる奴で

お玉 これ検温の機械なんですか

男 そうだよ、はいどうぞ

お玉 (測る) 戦闘力2

男 2？

お玉 こいつ猫以下だ

男 出るの？それで戦闘力

女 私は

お玉 (女を測る) 戦闘力23000

男 ザーボンさんじゃん

女 やった

男 やったじゃなくて、ふざけてますよね、検温、温度を取るんですよ

お玉 「それではご指名ですので一言、お集まりのみなさまのご健勝を
…」

男 その音頭じゃなくて

お玉 乾杯

マスター、お玉、女、離れた位置で乾杯する

男 そこはソーシャルディスタンス

マスター お客様マスクして頂けますか

男 今頃?つうか持ってないですよ、だってマスク売ってないんですけどもん

マスター 人としてマスクもせず外出し、大声で大量のツバキを撒き散らすのは、いかななものかと

男 そこまで言う

マスター こちらで用意したマスクご使用頂けますか?

男 あるんですか?最初に言ってくださいよ、助かります

マスター お玉!

お玉 (男にマスクを装着する)

男 そうそうこれこれって、一番ダメなやつ

女 たかし似合う

男 そうかなって…マスクの意味が違うからね

女 そうなの

男 そうだよ、どうした、さっきからおかしいよ

お玉 出たな怪人ゲス不倫男

男 …俺?

女 キャー助けて!

お玉 多目的キーク(キックする)

男 痛い痛い

お玉 多目的パンチ（パンチする）

男 痛いって

お玉 多目的ヘッドロック（する）

男 苦しい苦しい

マスター、筋トレ道具を出す

男 マスター助けてって、なにしてんすか

マスター このご時世喫茶店だけじゃ引きが弱いんでね、減った分の客席スペースで、ジム始めようかと

男 ジムはダメでしょう

マスター ダメなんですか

男 ジムはまだダメですからね

マスター じゃお玉ホステスできるか？

男 いやキャバもダメ

お玉 はい

男 はいじゃなくて

お玉 飲んで飲んで飲んで、飲んで飲んで飲んで、飲んで飲んで飲んで飲んで

男 それがダメ

お玉 飲んで飲んで飲んで、呑まれて呑んで、酔くい潰れて眠るまで、呑んで

男 語呂悪いし、ダメですよ、なんでダメな方寄ってくんですか

マスター じゃあどうやって生きて言って言うんですか

お玉 社長さん、部長さん、スケベ、アルよ、モミモミ、パコパコ

マスター あんなにやる気なのに

女 カラオケは

男 カラオケもダメだろう

女 せっかくこの辺広いんだから、間隔開けて一人カラオケ的な

男 ああだろうね

マスター ミュージックスタート

女 (歌う) 冷たい泉に素足を浸して見上げるスカイファイバー、好きな服を着てるだけ、悪いことしてないよ

マスター プリンセスプリンセス「ダイヤモンド」略して「ダイヤモンドプリセス」名曲だ

男 あの船、横浜の！

警官(登場) こんにちは

マスター はい

警官 通報がありましたので、店内を調べさせていただきます

マスター 为什么呢

警官 この辺で立てこもり事件の通報が(男を見る)

男 僕じゃありませんよ

警官 マスクよし

男 いいんですか、こっちのマスクで

警官 問題ないようですね

マスター ご苦労様です

警官 (退場)

男 もういいや、マスターお会計お願いします

マスター お客様、会計なんですけども、あちらで玉に替えてお支払いください

男 パチンコ屋のシステム！

終わり

第2部

●甘味所ドラ屋

登場人物

ドラ次郎

サクラ

ヒロシ

おばちゃん

たこ

マドンナ

客1

警官

BGM

明転

おばちゃん、店の外で掃き掃除をしている

店内ーヒロシとサクラ、巻き尺を持ち測っている

ヒロシ 2Mのところに印して

サクラ ここ？

ヒロシ うん、バツかなんかでわかるように

サクラ はい

ヒロシ じゃ次そっちか

2M 間隔を測り開店の準備をしている

一方、掃き掃除をしているおばちゃんの前を何度もドラ次郎が通り過ぎていくが特におばちゃんは気がつく様子がないが

おばちゃん ああ

ドラ次郎 はい？

おばちゃん うちになんかご用ですか

ドラ次郎 いえ…まあ

おばちゃん なんですか

ドラ次郎 お久しぶりでございます

おばちゃん は？

ドラ次郎 随分とお痩せになりましたね、顔なんかしわくちやで

おばちゃん なんだい失礼な人だね

ドラ次郎 ご苦労なすったんでしょね、手なんかもうガサガサで

おばちゃん そうかい？年の割には…

ドラ次郎 どうぞ（ニベアを差し出す）

おばちゃん いらぬいよ気持ち悪い、あんた誰だい

ドラ次郎 誰って他人行儀な、俺とおばちゃんの仲じゃないですかい

おばちゃん あんたなんか知らないよ、気味悪いね

ドラ次郎 そうか…ボケちゃったんだな

おばちゃん ボケてぢやないよ

ドラ次郎 じゃ今年は昭和でいうと何年ですかい？

おばちゃん 昭和で

ドラ次郎 すっと出てこない、ボケちゃったんだな

おばちゃん うるさいよ、用がないならどっか行きな

ドラ次郎 へいへい（退場）

ヒロシ おばちゃんちょっといい

おばちゃん あいよ（店内に入る）

ヒロシ それでは今日から久々に店を開けます

サクラ （拍手）

ヒロシ 客席と客席、お客様とお客様との距離は必ず2M以上空けるこ

と、また注文を取る時は、お客様と対面しないよう、大きな声は出さず、小
声で、何をするにも2M以上間隔を空ける事順守でお願いします

おばちゃん 面倒くさい話だね

サクラ そうなんだけど、そうでもしないと営業できないのよ

おばちゃん　　なんで

サクラ　　ガイドラインがあるの

おばちゃん　　ガイドラインって…

サクラ　　それに自粛警察もいるし

おばちゃん　　なんだいそりゃ

サクラ　　なんて言ったらいいのかな、今時期店開けると文句いう連中っていうの、この間もたけぼう所のケーキ屋さん、窓ガラス破られたんだって、昨日なんかフラワー街のスナックでボヤ騒ぎ、放火じゃないかって噂になってんのよ

おばちゃん　　なんで警察がそんなことすんのさ

サクラ　　いや本当の警察ではないんだけど

おばちゃん　　じゃなんだい

サクラ　　う〜ん

おばちゃん　　だいたいそんなチンピラみたいなのに警察なんてお上の名前つけるのがおかしいじゃないか

サクラ　　ね〜

ヒロシ　　まあまあ、とにかく、ガイドラインに従ってさ、今日から張りきって営業したいと思います。二人ともよろしくお願いします

（カウンターへ）

おばちゃん　　その自粛警察ってのは、取り締まりに歩ってるのかね？

サクラ　　多分

おばちゃん　　どんな格好してんだい

サクラ　　きつと見るからに怪しいんだよ、例えばトレンチコートにサングラスで、マスクして顔隠してたりして

おばちゃん　　へ〜そりゃ見るからに怪しいね、うちにも来るのかい

サクラ　　わかんないけど、来ても文句言われないように、ヒロシさん張り切ってるから

ヒロシ　　（はりきっている）

おばちゃん　　そーいやさっき店の前に変なのいたね、格好は違うけど

サクラ　　どんなのよ

おばちゃん　　妙に馴れ馴れしくってさ、私のことしわくちやのババアとか
抜かしてやがって失礼なやつなんだよ
サクラ　　なにそれ

客1　　（トレンチコートにサングラス、マスク姿で登場）

ヒロシ　　いらっしやいませ、お一人ですか

客1　　（頷く）

ヒロシ　　好きなお席どうぞ

おばちゃん、サクラ、噂していた自肅警察の格好によく似た客に気がつく

サクラ　　ヒロシさん

ヒロシ　　なに

サクラ　　あのお客

ヒロシ　　なに

おばちゃん　　自肅警察だよ

ヒロシ　　おばちゃんなに言ってるの

おばちゃん　　だって、思ってたのとまんまじゃないかい

ヒロシ　　えええ

客1　　（おもむろにアンパンと牛乳を取り出し食う）

サクラ　　ほらゝ

ヒロシ　　ほらってなにが

おばちゃん　　張り込みの定番だよありゃ

ヒロシ　　かな

客1　　（缶コーヒーのボスを出し、双眼鏡を覗く）

おばちゃん　　南無阿弥陀南無阿弥陀（退場）

サクラ　　ヒロシさんどうする

ヒロシ　　任せて（ヒロシ、水とコップを持ち客席へ）いらっしやいませ

客1　　：

ヒロシ　　（動転して客と対面してしまう）

サクラ　　ヒロシさん対面してる！

ヒロシ ヒー申し訳ございません、今のは間違いで当店は決められたマニュアルを遵守しておりますので、どうかご容赦を

客1 ……

ヒロシ お冷でございます（動揺して手が震え、客がビシヤビシヤになる）ヒュー、申し訳ございません、ただ今タオルを（カウンターへ）

サクラ （入れ替わりタオルを持ち客席へ）大変申し訳ございませんでした、お怪我はございませんか

客1 （タオルをもぎ取り拭き、サクラを睨む）

サクラ 何か

客1 メニュー下さい

サクラ た、ただいま（カウンターへ）

ヒロシ なんだって？

サクラ メニュー下さいって

ヒロシ メニューか、ほら

サクラ ヒロシさん行ってよ

ヒロシ やだよ、俺もう目つけられてんだから、前科一犯だよ一犯、お前
行け

サクラ もう（渋々行こうとするが）

ヒロシ サクラ！

サクラ なに、大声ダメなんじゃないの？

ヒロシ 戻って戻って

サクラ なにもう

ヒロシ そのメニュー消毒したか？

サクラ さっき拭いたよ

ヒロシ 拭いたくらいじゃダメだろ、警察の方々は目が肥えてらっしゃるんだ、もっかい念入りにして

サクラ （プシュプシュ拭く）いい

ヒロシ 内側も！

サクラ はあ、中和紙なんだけど

ヒロシ いいから

サクラ （渋々プシュプシュ）いい

ヒロシ OK

サクラ メニューでございます

客1 (メニューを開くが滲んで読めない)

外

ドラ次郎 (モンキーバナナを食べ皮を落とすのを何度か繰り返す)

おばちゃん ちよいとあんた、なにさつきから人の店の前でバナナの皮捨ててんのさ、拾いな

ドラ次郎 こりや大変失礼いたしました(再びバナナを食い、皮を捨てる)

おばちゃん この野郎ばかりにしてんね

ドラ次郎 そんなつもりはございません、おばちゃんに気付いて欲しいばかりに

おばちゃん なにを気付けたのさ

ドラ次郎 そりゃまああつしのことを

おばちゃん お前なんか知らないよ、さつきから言ってたんだろう

ドラ次郎 この黄色い物体とあつし、何かピント来やしませんかい、エロい意味じゃなくて

おばちゃん はあ、バナナだろう、エロ以外に何があんだよ

ドラ次郎 結構毛だらけ猫灰だらけ、隣のトイレはクソまみれってね

おばちゃん なんだ汚いね

ドラ次郎 じゃもう大サービスだ、腹巻しましょう(する) どうだ

おばちゃん ふ〜ん

ドラ次郎 仕方ねーな、これでどうだババア

ドラ次郎 (帽子をかぶり寅さんの姿が完成する) バレバレかな

おばちゃん 誰だよあんた

ドラ次郎 誰って、俺だよ

おばちゃん 誰だよ

ドラ次郎 俺だっつってんだらババア

おばちゃん 知らねえっつてんだよこのすつことどっこい、あんまりしつこいと警察呼ぶよ、そくだ今中に警察居るんだからね、呼ぶよ

ドラ次郎 やめろよ
おばちゃん 呼ぶよ
ドラ次郎 やめろよ
おばちゃん お巡りさん！
ドラ次郎 やめろババア
おばちゃん じゃ帰んな
ドラ次郎 はいはい（退場）
おばちゃん （退場）

マドンナ （客1と同じ格好で店内へ）
ヒロシ いらっしやいませって、またですか
マドンナ 何が
ヒロシ 何がって…
マドンナ 開いてます？
ヒロシ 同僚の方いらっしやってます
マドンナ え？
ヒロシ お好きなお席どうぞ
マドンナ （座る）
ヒロシ やばいよサクラ、うちの店完全に見つけられてるよ、公安か？自
粛公安かこれは
サクラ 店閉めた方がいいかもね
ヒロシ だな、さっさと閉めて帰ってもらおう

タコ （登場）
ヒロシ お客様、今日はもう閉店しますので
タコ う、動くな
ヒロシ はい？
タコ 強盗だ、金出せ（銃を取り出し向ける）お前ら全員手をあげろ、動
くな

全員手をあげる

タコ 金出せ

ヒロシ お金なんて

タコ ガタガタうるせーいいから出せ、お前ら全員隅に塊れ

ヒロシ あの

タコ なんだ

ヒロシ 小声でお願い出来ますか

タコ は

ヒロシ 飛沫が飛びますので

タコ うるせー指図すんな

ヒロシ あと

タコ なんだ

ヒロシ 我々あなたの指示には従います、これから隅に塊りますが、一応ガイドラインに従ってもよろしいでしょうか？

タコ なんだガイドラインって、強盗のガイドラインとかあんのか

ヒロシ 最近できまして

タコ やってみろ

ヒロシ みなさん、あの方に指示に従い2メートル間隔であちらの方へ

2m 間隔で隅に

タコ 全然塊になってねーじゃねーか、ばかにしてんのかこのやろう

サクラ 違うんです、夫は

タコ なんだ

サクラ ガイドラインに従ってるだけなんです

タコ は

サクラ 2m 以上間隔を空けないと密になるんです

タコ コロナ対策完璧とか言うか、これが見えねーのか、撃つぞ

サクラ 撃たれるのも怖いですが、うつしたりうつされたりするもの怖いです

タコ なにうまいこと言ってんだよ、いいから塊れ、よし、それからそのペアルック、サングラスとマスク取れ

客1 嫌だ

タコ 嫌だじゃねーだろ、これが見えねーのか

客1 嫌だ

ヒロシ ここは素直に従いましょう

客1 嫌だ

サクラ お願い

タコ それもガイドラインか

客1 今日は化粧してないから嫌だ

おばちゃん (カウンター奥から登場) 女心だね

ヒロシ おばちゃんいつからいたの!

タコ 隠れてやがったなババア、お前もそっちいけ

おばちゃん ハイハイ

客1、マドンナ (変装を取る)

タコ (カウンターで金目のものを漁っている)

おばちゃん あんたら秘密警察なんだろうなとかしなよ

客1 秘密警察ってなんですか

サクラ 自粛警察だよおばちゃん、ですよ

客1 自粛警察でもないですよ

サクラ そうなの、じゃ何警察

ヒロシ 公安の方々ですか

マドンナ 何警察でもありません

ヒロシ 警察じゃないの!

タコ 警察?

ヒロシ いやこっちの話です

タコ 聞き捨てならねえな、ここに警察がいんのか

サクラ 勘違いでした

タコ 本当だろうな

サクラ もちろん

タコ 次コソコソしたらズドンだぞ、黙って手あげてろ、金どこだ(漁っている)

おばちゃん なんだ警察じゃないのかい、ややこしいね

客2 すいません

タコ 勝手に喋るなってつってんだろ、お金どこだ、撃つぞ、ズドン行
くぞ

客1 (咳き込む)

全員客1を凝視

客1 え？

タコ 馬鹿野郎咳するときはこうだろ

客1 でも手あげてろって

タコ 時と場合ってのがあんだよ

客1 だって(咳き込む)

ヒロシ、サクラ、おばちゃん、マドンナ、タコの方へ逃げる

タコ こうしろよ

客1 だって(咳き込み、みんなの方へ)

タコ含め全員逃げ回る

タコ 一旦落ち着こう、お前、手をこうしとけ

客1 こう？

タコ そう、ずっとそうしとけよ、手を挙げるな

客1 はい

タコ よし、お前らはあっち行けよ

ヒロシ いや

サクラ 何もしませんからこっちにいさせてください

タコ 変だろそれは

ドラ次郎 (登場) ただいま、おや？

タコ 誰だてめゝ

ドラ次郎 名乗るほどのものじゃござんせん、それでは（去ろうとする）
タコ どこ行くんだよ

ドラ次郎 お取り込み中のようなんであっしは、また
タコ どこにも行かせねーぞ、お前もこっちこい

ドラ次郎 いいんですか、それじゃ（去ろうとする）

タコ そっっちゃじゃねーよ

ドラ次郎 こっち？

タコ そう

ドラ次郎 へいへい（店内に入りタコのそばを通り過ぎる瞬間銃を奪おう
とし、もみ合いに）

タコ このやろう

もみ合いの最中、ドラ次郎に銃口が向けられ

「パン」

マドンナ （倒れる）

ヒロシ なんて

ドラ次郎 この野郎、おもちゃじゃねーか（タコを取り押さえる）
タコ ギブギブギブ

ドラ次郎 ヒロシ縄持ってこい

ヒロシ はい

タコを縛る

ドラ次郎 たく、毎度毎度朝から騒々しいなあ

ヒロシ どのどなたか存じませんが大変ありがとうございます

ドラ次郎 どのどなたって随分他人行儀じゃあねえか、ヒロシ

ヒロシ え、どうして名前を

ドラ次郎 なに寝ぼけてんだよ…冴えねーツラしやがって、ただいま

ヒロシ 誰？

ドラ次郎 ただいま

サクラ 誰？

ドラ次郎 ただ

おばちゃん 誰？

ドラ次郎 俺だ

タコ 誰？

ドラ次郎 お前こそ誰だよ…なんだみんなして俺を担いでんか

ヒロシ すみません本当にどなたですか

ドラ次郎 どなたって

ヒロシ まじで

ドラ次郎 ドラだよ

ヒロシ ああゝ

ドラ次郎 遅えよ

ヒロシ 未来から来た？

ドラ次郎 ドラえもんじゃねえよ、青いか俺は？

ヒロシ じゃんけん

ドラ次郎 (グーで負ける)

ヒロシ ドラえもんだ

ドラ次郎 違うよ、グーはたまたまだよ

おばちゃん (ネズミを出す) うえええええ

ドラ次郎 ネズミはいやゝ

おばちゃん こりゃドラえもんだね

ドラ次郎 びっくりしたただだよ

サクラ よかったらどうぞ (ドラ焼きを出す)

ドラ次郎 これこれ

サクラ ドラえもんだね

ドラ次郎 好きだけでも…サクラお兄ちゃんは悲しいぞ

サクラ お兄ちゃん？

ドラ次郎 お前と血を分けた兄弟じゃねえか

サクラ いやいやいや

ドラ次郎　なんだよ情けねえ、確かに五年やそこらぶりではあるが、なあこの風来坊、兄貴って胸はって言えることは何一つ出来ちゃいねえ、だからってよ、この仕打ちはアリか？

ヒロシ　でも〜

タコ　(泣く)

ドラ次郎　どうした

タコ　よっぽど嫌われてるんですね

ドラ次郎　うるせーよこのやろう

警官　(登場)　こんにちは

ヒロシ　あ、どうも

警官　強盗事件の通報がありました、様子を見に来たんですか…

ヒロシ　ああお手間とらせまして

警官　問題なさそうですね

サクラ　どこが？

警官　それではこれで、そうだ、みなさん、マスクして下さいね(退場)

おばちゃん　あれが噂の自粛警察かい

サクラ　一番そんな感じしたね

マドンナ　(気絶から目がさめる)

ドラ次郎　お嬢さん大丈夫ですかい？美しい…

マドンナ　何があったんですか

ドラ次郎　おもちゃの銃でした、さぞかしびっくりなすったんでしょう

マドンナ　(頭をかかえる)

ドラ次郎　こりゃいけない、ヒロシ濡れタオル

客1　ここにありますが

ドラ次郎　いらねーよそんなもん

マドンナ　ああ…

ドラ次郎　大丈夫ですか

マドンナ　ここはどこ、私は誰？

ドラ次郎　こりゃ…記憶喪失だ…

暗転

BGM

声ー営業時間調整しようが、コロナ対策しようが、こんな時によく店開けられますね、不謹慎だと思います、売り上げ、お金、そんなに欲しいですか？警察に通報します。

明転

ー翌朝ー

ヒロシ (くしゃくしゃに丸めた紙を持ち、疲れた感じで店内へ)

サクラ どうかしたの

ヒロシ いや…なんでもない

サクラ そう

開店の準備をしている

ドラ次郎 (二日酔いのような様子で登場) ヒロシ、水くれ、頭痛え、ああ飲みすぎた…

ヒロシ よく眠れましたか

ドラ次郎 そりゃあお前、煎餅布団でも我が家は我が家だなくすっかり眠っちゃって…熟睡すると夢も見ないね

ヒロシ それはよかったです、どうぞ(水を渡す)

ドラ次郎 (一気に飲み干し) うまい、我が家だと水もうまく感じんな

ヒロシ なんか作りますか？お腹空いてれば

ドラ次郎 いいの？

ヒロシ はい

ドラ次郎 簡単なものでいいぞ

サクラ ちょっとヒロシさん、こっち

ヒロシ (カウンターを出てサクラの方へ)

サクラ 何今の

ヒロシ いや朝食を

サクラ なんてそんなことするのよ

ヒロシ だって

サクラ 本当誰なのあの人が、昨日寝ずに考えたけど、どう考えても他人だ

よね

ヒロシ それは間違いないと思う

サクラ 私のお兄ちゃんじゃないよね

ヒロシ 絶対違う

サクラ じゃあなんでへこへこするわけ

ヒロシ だって昨日強盗から助けてくれた恩人なんだし、無下にもできな

いじゃん

サクラ でもさ

ヒロシ 多分だけど今日一日調子合わせてれば、夜にはどっか行くよ

サクラ そうかな

マドンナ (登場) おはようございます

ドラ次郎 起きて大丈夫ですか幸子さん

マドンナ は、はい

ヒロシ この方、幸子さんっていうんですか

ドラ次郎 知らねえ

ヒロシ でも今幸子さんって

ドラ次郎 記憶喪失でお名前がないんだ、名無しの権平じゃかわいそすぎ

んだろ、だから、思い出すまでは幸子さんでいいじゃねえか

ヒロシ そんな適当でいいんですか

マドンナ まあ

ドラ次郎 ヒロシ、幸子さんに何か精のつくものを出して差し上げて

マドンナ そんなご迷惑は、もう出て行きますので

ドラ次郎 出てくって、どこに行くんですかい、記憶がないんですから、

そんなのは自殺行為だ、うすぎたねえ家ですが気になさらず、なんならずっ

と居てください、俺も一緒に居ますから

ヒロシ、サクラ え！

ドラ次郎 なんだえ！って

タコ (登場) おはようございます

ドラ次郎 てめえ何しに来やがった

タコ 師匠そんな言い方ないじゃないですか

ドラ次郎 師匠だ、ふざけてんなこのやろう

タコ 昨日約束したじゃないですか、俺を弟子にするって

ドラ次郎 はあ？

タコ 何にも覚えてないんですか、しこたま飲んでたからなあ

ドラ次郎 なに昨日なんか約束したの俺？

サクラ しましたよ

ドラ次郎 どんな

サクラ だから、幸子さんが気絶しててんやわんやで布団運んで、その後この子どうするみたいにな話になったじゃないですか、その辺りから次郎さんお酒飲み始めて、どうしてこんなことしたんだって

ドラ次郎 で

タコ この不況で仕事クビになって、文無しで切羽詰まって

ヒロシ そしたら次郎さんが、いいじゃねえか、許してやろうって縄ほどいたら、この子感動して

ドラ次郎 あそう、弟子？俺の？

タコ なんでも言うてください師匠、俺役に立ちたいんです

ドラ次郎 困ったね…犬っころみたいな目しやがって…じゃとりあえず外の掃除でもしとけ

タコ はい (退場)

ドラ次郎 変なのに好かれちゃまったなあ

マドンナ なんか分かる気がする

ドラ次郎 何がですかい

マドンナ ドラさん優しいもん

ドラ次郎 俺が？

マドンナ うん

ドラ次郎 え、いまなんて言いました

マドンナ ドラさん優しい

ドラ次郎 そんなじゃないですよ…

ヒロシ 次郎さん顔赤いですよ

ドラ次郎 うるせーヒロシ、ちよっくら散歩でもしてくるかな (退場)

マドンナ いいお兄さんですね

サクラ う〜ん

マドンナ どうしたの

サクラ 本当に違うんですよ

マドンナ 違うって

サクラ だから、ねえ

ヒロシ 狐につままれたみたいなお話なんですけど、あの人全くの赤の他人

なんです

マドンナ 嘘

ヒロシ 本当

マドンナ え、お兄さんじゃないの

サクラ はい

マドンナ とぼけてるとかじゃなくて？

ヒロシ はい

マドンナ 何それ、おかしい

ヒロシ まあ悪い人ではなさそうですし…あのペースで来られるとどうにも調子が狂ってしまって、もうしばらく様子みるしかなさそうです

サクラ ヒロシさん本当にお人好しなんだから

ヒロシ だってさ

マドンナ そうですよ、普通だったならそんな人叩き出すのにつて、私が言えないか

サクラ 幸子さんは気になさらないでくださいね、こんなところでよかつたら、思い出すまで居てください

マドンナ でも

ヒロシ もうすぐ開店なんで奥で休んでてください、すぐご飯持ってきてますんで

マドンナ (退場)

客1 (登場)

サクラ いらっしやいませ

客1 あのだい

サクラ はい

客1 昨日の犯人、外の掃除してますけど

サクラ ええ

客1 どうして

サクラ 色々あるんですよ

客1 はあ(席へ)

警官 (登場) おはようございます、お変わりありませんか

ヒロシ ええ…まあ、お巡りさんもご苦労様ですね、勤務中ですか

警官 勤務中といえは勤務中ですが、でないといえはでないかかもしれま
せん

ヒロシ じゃよかったらコーヒーでも一杯

警官 そういうわけには

ヒロシ いいじゃないですか

警官 ではお言葉に甘えて(カウンターに座る)

おばちゃん (登場) ちよっとお巡りさん聞きました、フラワー商店街の

酒屋の事

警官 いえ

おばちゃん あたしもさっき聞いたんだけど、今朝店開けようとしたら、
シャッターにデカデカ、スプレーで落書きされたんだって

警官 ここ最近そういった被害が増えております…物騒な世の中ですね

おばちゃん 自粛警察だろ

警官 嫌ですな

おばちゃん 嫌ですな、じゃないよ、本物の警察がため息ついてどうすん
のさ、なんとかしとくれよ

警官 パトロールを強化しておりますので

おばちゃん うちだっていつ狙われるかわかったもんじゃないよ、ね、ヒロ
シ

ヒロシ う、うん

おばちゃん こういう時こそあんたみたいなのに頑張ってもらわないと、
税金泥棒って言われちゃうよ

警官 わかりました

おばちゃん じゃほら、こんなところで油売ってないでパトロールしてきな

警官 はい

ヒロシ 今コーヒーを

警官 コーヒーはまた今度（退場）

客1 注文いいですか

サクラ はい

客1 アイスコーヒーひとつ

サクラ お待ち下さい、ヒロシさんアイスコーヒー

ヒロシ アイスかゝホットならすぐ出せますけど

サクラ ヒロシさん！

ヒロシ このコーヒーもったいないな

客1 じゃホットでいいです

ヒロシ 承知しました、どうぞ

客1 はや！

おばちゃん サクラ、あいつどうした

サクラ 次郎さん？散歩行ったよ

おばちゃん 行ったってことは戻ってくんのかい？

サクラ 多分

おばちゃん 本当どういう見してんだろうね、赤の他人が我が物顔で

ヒロシ おばちゃん声大きいよ、お客さんもいるんだから

おばちゃん だってさあ、ヒロシ、戻ってきたらちゃんと話しなよ

ヒロシ 何を

おばちゃん 何をつて決まってるんじゃないか、昨日は行きがかり上家に泊めたけどね、そもそもあんたはこの家族でもなんでもないんだって、こっちは全然納得してないんだってさ、男同士話付けな、いいね

ヒロシ わかったよ（客1へ運ぶ）どうぞ

客1 ありがとうございます

ヒロシ お上手ですね

客1 はい？

ヒロシ ごめんなさい、ちらっと見えちゃって

客1 簡単なスケッチなんですけど

ヒロシ 絵描きさんなんですか？

客1 絵描きって言うか美大通ってるだけでそんな

ヒロシ 美大！そりゃすごいですね

客1 全然そんな事ないです

ヒロシ ごゆっくり

客1 ありがとうございます

照明夕方へ

BGM

客1、おばちゃん、ヒロシ 退場

タコ (登場し外の掃き掃除をしている)

サクラ (外へ) ちょっとまだ掃除してたの？

タコ はい、なんかやめどきがわかんなくて

サクラ もういいと思うよ

タコ ですかね…

サクラ うん

タコ 師匠は戻りました？

サクラ そう言えばまだ帰ってこないね、道に迷ったのかな

タコ あの

サクラ うん

タコ やっぱり、師匠はサクラさんのお兄さんじゃないんですよね

サクラ あたし一人っ子なの、ごめんね

タコ じゃあここにはそんなに居られませんね

サクラ まあ普通に考えればね

タコ お願いがあるんですけど

サクラ なに

タコ 出来るだけ穩便に追い出して頂けると

サクラ どういう事

タコ 俺あの人の悲しむ顔見たくなんですよ、初めて許してくれた人だから

サクラ 昨日の事？

タコ ああ、もちろん皆さんに許してもらったんですけど、普通強盗に入った奴なんか許さないじゃないですか、警察突き出して終わりです、一回しくじったら、底の底まで突き落とされる世の中で、「いいじゃねえか」嬉しかったなあ、だから

サクラ わかった、できるだけ傷つけないように、話すから

タコ お願いします

夜

ごそごそ、ガシガシ、不穏な音がする

ヒロシ 誰だ！

ごそごそ、ガシガシ

ヒロシ 誰だ！

ドラ次郎 俺だ、開けろ

ヒロシ 次郎さんですか？

ドラ次郎 そうだよ

ヒロシ なんですかこんな夜中に、泥棒かと思いましたよ

ドラ次郎 いいから開けろ、暗くてなんも見えねえや

ヒロシ 飲んできたんですか？

ドラ次郎 ああ、ちよつとな、水くれ

ヒロシ どうぞ

ドラ次郎 はあ、うまい、我が家の水はうまいな

ヒロシ 普通の水道水ですけど

ドラ次郎 バカだなお前は、何にもわかってない

ヒロシ それはすみませんでした…

ドラ次郎　しかしこの景気はなんだ、人が全然出てねくじゃねえか、馴染みの店行ったらよ、きたねえツラした親父が俺の顔見てニコして笑いやがってな…気持ち悪い、次の客が全然来ねえもんだから、帰るに帰れずこの時間だ

ヒロシ　今時どこの店もそんな感じじゃないですか

ドラ次郎　そうか、そりゃ大変だ

ヒロシ　そうなんです、そこでなんですけど、ひとつはっきりしたいことが

ドラ次郎　ヒロシありがとう

ヒロシ　なんですか急に

ドラ次郎　サクラとおばちゃん

ヒロシ　はい？

ドラ次郎　よく考えりゃサクラもおばちゃんもお前にとっては赤の他人だ

ヒロシ　はい、うん？

ドラ次郎　俺がこんなじゃきゃな、俺がこの店切り盛りしてよ、おばちゃんの面倒見なきゃいけねえ所だ、お前には学がある、立派な企業勤めてよ、サクラとなに不自由なく暮らす目だってあったはずだ、その荷物全部お前に背負こましちまった

ヒロシ　うん？うん？

ドラ次郎　ありがとう

ヒロシ　はあ

ドラ次郎　お前はすごい男だよ…言いたい事の半分も言わねえで、飲み込んで、いつも静かに笑ってる…

ヒロシ　次郎さん

ドラ次郎　みんなに木偶の坊と言われ

ヒロシ　言われてるんですか？

ドラ次郎　ありがとう

ヒロシ　いえ

ドラ次郎　で、はっきりさせたい事ってのはなんだ

ヒロシ　ああ、それは、また今度…じゃもう寝ますんで

ドラ次郎　また明日な

ヒロシ　(退場)

ドラ次郎 (薄暗い中で歩き、バックにぶつかる、バックの中から、スプレー缶が出てくる)

BGM

声ー店閉めろよバカ、自粛しろ、火つけんぞ、やめろ、死ぬ、早く潰れろ

朝

ヒロシ (くしゃくしゃに丸めた紙を持ち外へ)

タコ (掃除をしながら登場) おはようございます

ヒロシ おはよう、早いね

タコ ヒロシさんそれ

ヒロシ うん? ああ: みんなには内緒ね、心配するから

タコ 本頭来ますよね、ヒロシさん一生懸命対策してるのに

ヒロシ うーん、まあ仕方ないのかな、こういうご時世だし

タコ 仕方なくなんかいいですよ

ヒロシ こんなどうせ一時のことだろうから

タコ そういう訳にいきませんよ、犯人見つけて思い知らせてやりましょ

う

ヒロシ 危ないからやめな

タコ 俺に任して下さい: 師匠は?

ヒロシ 次郎さん、いるよ

タコ います? よかった

店内

ドラ次郎 (登場し、カウンターへ、何やら調理を始める)

ヒロシ、タコ 店内へ

タコ おはようございます師匠

ドラ次郎 おう!

ヒロシ あれ何してるんですか？

ドラ次郎 俺の手料理を幸子さんにな…

タコ 師匠料理なんて出来るんですか？

ドラ次郎 出来るに決まってるんだろ

おばちゃん、サクラ登場

おばちゃん ヒロシ

ヒロシ なに

おばちゃん ちょっとこっちな

ヒロシ 何よ

おばちゃん 何よじゃないよ、なんだいアレは

ヒロシ 次郎さんが幸子さんに手料理を

おばちゃん そんな事聞いちゃいけないよ、昨日の話はどうしたのさ

ヒロシ いや〜

おばちゃん あたしやはてつきり昨日のうちに話つけて朝には綺麗サツパ
リ消えてると思ってたよ、なんだいあの様…鼻歌なんか歌いやがって、消え
るところか、まるつきりこの一員みたいじゃないか

ドラ次郎 おばちゃん

おばちゃん あん？

ドラ次郎 今ねおばちゃんから教わった卵焼き作ってるから

おばちゃん あたしが教えた？

ドラ次郎 あれは俺らが小学校の時分の大雪のクリスマスだ、サクラがチ
キン食べてえ〜ってせがむもんで、飼ってたニワトリ丸焼きにしたろ、締め
られる直前恐怖のあまり産んだ卵で作った卵焼き、うまかった〜

おばちゃん なんだいそのイカれたエピソードは

サクラ そんな事あったかも

おばちゃん ええ〜

マドンナ (エプロンをつけ登場) おはようございます

ドラ次郎 幸子さん、何ですその格好は

マドンナ だいたいさせてもらうのも悪いから、お手伝いしようかと

ドラ次郎 いいんですよ、気使なんかなくて

マドンナ　でも悪いし

ドラ次郎　はあ、お優しいなあ。確かに店には看板娘が必要だ、エプロン姿もお似合いだ、こんな店にはもったいない

マドンナ　なんでも言ってくださいね

ヒロシ　ありがとうございます…何かお願い出来る事があればいいんですが…見ての通り暇で

ドラ次郎　出来た！（卵焼きを出す）

タコ　おお

おばちゃん　見てくれは悪くないね

ドラ次郎　ささ、幸子さんどうぞ

マドンナ　私に

ドラ次郎　まず食べてみて下さい

マドンナ　じゃ（食べる）美味しい

ドラ次郎　でしょう、なんだお前らその物欲しいそうな目は、じゃ食え

各自食べる

おばちゃん　悔しいけどうまいね

タコ　これなら金取れますよ師匠

マドンナ　あと、これよかったら（マスクを出す）

おばちゃん　なんだい

マドンナ　なんとなくみなさん距離が近いというか密な気がしたので、マスクした方がいいかなと思って

ドラ次郎　お優しいな、ありがとうございます、ほらお前らマスクしろ

おばちゃん　みんな知り合いだしいんじやないの

マドンナ　おばちゃんは特に高齢だから気を付けないと

おばちゃん　そうなの？

（みんなでマスクをする）

おばちゃん　なんか病人にでもなった気分だね、息苦しいったらありやしない

ドラ次郎 うるせえババア、文句言うんじゃないよ

ヒロシ これだ！

サクラ なに？

ヒロシ いやね、この時勢で普通に営業してもお客さん来ないし、何かしなきゃいけないと思ってたけど、テイクアウトってどうかな、次郎さんの卵焼きメインでお弁当

客1 (登場) いいですね

ドラ次郎 なんだ姉ちゃん今日もきたのか

客1 はい

ドラ次郎 学校はどうした

客1 まだ休校で、それより、そのアイディアいいと思いますよ、よかつたらお弁当のイラスト書かせてくれませんか！

サクラ でもいいの？

客1 何かお手伝いしたいんです、よろしければ

サクラ じゃお願いね

ドラ次郎 なら手始めに俺と幸子さんをいい感じに書いてみる

客1 なんで

ドラ次郎 姉ちゃんノ腕前を見てやるから、幸子さん、こっちこっち

マドンナ (来る)

ドラ次郎 ほら、描け

客1 わかりました、マスク取ってもらっていいですか (似顔絵を描く)

警官 (登場) こんにちは、なんか盛り上がってますね

ヒロシ いらっしやいませ、いま新しいビジネスのアイディアが

警官 それはいいですね

ヒロシ 今日はコーヒー飲んでって下さいよ

警官 ではお言葉に甘えて (カウンターに座る)

おばちゃん で

警官 はい

おばちゃん その後どうなのさ、自粛警察は

警官 昨晚も2件、落書き被害がありました、ただひとつ耳寄りな情報がありました、最近被害のあったスプレアの落書きなんですけど、どうも、ホー

ムセンター等に出回る市販のものに比べ、特殊な塗料が使われた特殊なスプレーのようで、その辺りの入手ルートから犯人が特定出来ればと思っています

ヒロシ　そうですか、とにかく早く捕まるといいですね

客1　幸子さん笑顔でお願いします

マドンナ　はい

警官　所で新しいビジネスというのは？

ヒロシ　次郎さんの卵焼きがめちゃう美味いで、それメインのお弁当のテイクアウト始めようかと

警官　なるほど確かにこの辺コンビニも少ないですし、閉まってる定食屋も多いから意外に需要があるかもしれませんね

ヒロシ　営業再開はしましたけどお客さんもさっぱりなんで、ようやく光明が見えて来ました、じゃあ本格的にメニュー考えないと

おばちゃん　あたしのシバ漬けはいてとくれよ

ヒロシ　はいはい

警官　卵焼きが美味いなら、オムライスとかはどうなんですかね

ヒロシ　次郎さん出来ます？

ドラ次郎　おいおいどんだけ俺をこき使う気だよ

おばちゃん　いいじゃないか、お前さんもここ居座る気ならなんか貢献しな

ドラ次郎　へいへい

客1　幸子さんもう少し笑顔で…幸子さん？

マドンナ　みなさん、もう少しお互いの距離をとった方がいいんじゃないでしょうか、マスクもしないで大声で、飛沫が飛びますよ、密集、密接、密閉の空間は感染のリスクが高まります、今はじっとして自分と他人を守らないと

ー変化ー

おばちゃん　安全のため、ライブハウスは自粛して下さい、次見かけたら警察に通報します

ヒロシ（よろよろお盆を持ったまま歩く）

警官　どうして閉店しないんですか、あなたのような無責任な人が、コロナを広めます、あなたは殺人者です

ヒロシ（よろよろお盆を持ったまま歩く）

客1　シャツターを閉めても営業してるの知ってますよ、そんなにお金が欲しいんですか

ヒロシ（よろよろお盆を持ったまま歩く）

サクラ　ポーズで感染対策しても無駄ですよ、今は営業自体が犯罪です、ウイルスを広める全てが犯罪です

ヒロシ　（お盆を落とす）

暗転

夜

ドラ次郎　ヒロシの具合どうだ

サクラ　寝てます…きつと疲れちゃったんだと思います、色々（くしゃくしゃにした紙を広げる）

ドラ次郎　あいつはな、思い詰めちゃうからな

サクラ　こういう時はお店開けちゃいけないんですかね

ドラ次郎　難しいな、あっちを立てればこっちが立たず、やれ自粛だ、やれホームステイだ

サクラ　ステイホーム

ドラ次郎 同じだろ、なあそんなもん気にすんな、そりやあれだ、ガキの
いたずらみたいなものだ、背中によ「ばか」書いて貼るいたずらだ
サクラ でも傷つきますよ

ドラ次郎 大事なのは、「バカ」って書くやつがバカなんだ、死ねって書
く奴は死にてえく程さみしんだ

サクラ みんな不安ならみんなで仲良くすればいいのに

ドラ次郎 それが出来ねーのが人間ってやつさ、人ってのは心細いとおか
しなことしかかすもんさ

サクラ これも？

ドラ次郎 かもな…いいじゃねえか

サクラ 何が

ドラ次郎 それでいいじゃねえか

サクラ 気にするなって事ですか？

ドラ次郎 それ以上をやんのさ、こんな時はな、くよくよため息つく前
に、びくびくおどおどする前に、暗いと不平を言うよりも、進んで明かりを
つけましようだ、な

サクラ うん

タコ (走って登場) くそー逃げられた

ドラ次郎 どうしたタコ

タコ 今ね怪しい奴見つけて追っかけたんですけど、寸での所で逃げられ
ました、見てませんか

ドラ次郎 おめえまだ自粛警察探してんのか

タコ はい

ドラ次郎 バカだね、そんなくだらねえ事やめろ

タコ だって

サクラ そうだよ、危ないよ

タコ 俺みなさんに恩返しがしたいんです、なんでもいいから

ドラ次郎 じゃ別のこと考えろ

タコ 例えば

ドラ次郎 そんなことてめーで考えよう

タコ はい

ドラ次郎　　いいか、犯人探しみてえなこともうすんじゃねえぞ

タコ　　はい

ドラ次郎　　じゃもうけえれ

タコ　　(退場)

マドンナ　　(登場)

ドラ次郎　　幸子さん、どうしたんですこんな夜中に

マドンナ　　ちょっと外散歩して来たんです

ドラ次郎　　そうですか…この辺も夜になると物騒なんで、ご無事で何よりです…サクラ

サクラ　　何？

ドラ次郎　　何じゃないよ、わかるだろう

サクラ　　…ああ(退場)

ドラ次郎　　月が綺麗な夜ですね…冷えませんか、よかったらこれを(上着をかける)

マドンナ　　さつきはごめんなさいね

ドラ次郎　　なんですか

マドンナ　　大きな声出しちゃって

ドラ次郎　　いいんですよ、あいつらもあいつらだ、この大変なときに呑気なもんですよ、ああいう連中が諸悪の根源なんですから、ちゃんと言い聞かしてやんねーと

マドンナ　　ドラさん辛くない？

ドラ次郎　　何がですか

マドンナ　　ドラさんはこの家族だと思ってるのに、みんな覚えてないなんて

ドラ次郎　　本当なんなんですかね、こうまで話がつながらねーとおかしな心持になりますよ、

まあいいじゃねえですか

マドンナ　　いいの？

ドラ次郎　　それでいいですよ、どうせあっしは風来坊、風の吹くまま気の向くまま、明日はどこぞの根無し草

マドンナ 私そろそろ出ていかないかね

ドラ次郎 なんです藪から棒に

マドンナ ドラさんもそう思うでしょう

ドラ次郎 なんてあつしが

マドンナ ここにふさわしくないし

ドラ次郎 確かにこんな汚ねー場所に幸子さんは不釣り合いだ

マドンナ そうじゃなくて

ドラ次郎 はい？

マドンナ わかるでしょう

ドラ次郎 わかりません

マドンナ 嘘ばっかり

ドラ次郎 幸子さん、もしよかったら、今度あつしとデ、デートなんぞし

ませんか

マドンナ デート？

ドラ次郎 気の滅入る世の中ですからね、なにもかも忘れて、太陽の下で、芝生なんぞみつけてそこに寝っ転がる、気持ちのいい風が吹いてきて、目をつぶるとウトウトウトって

マドンナ お腹が空くだらうからお弁当を持っていかないかね

ドラ次郎 ああ、いいですね

マドンナ 私が作ってもいい

ドラ次郎 いいんですかい？

マドンナ それくらいさせて、お弁当のリクエストは

ドラ次郎 ゆで卵は外せませんね

マドンナ また卵？

ドラ次郎 好きなんですよ、あとはなんですかね、唐揚げ

マドンナ また鶏だ

ドラ次郎 いいじゃねえですかい、好きなんだ

マドンナ え？

ドラ次郎 いや、あとは幸子さんにお任せします

マドンナ わかった、じゃ今度デートね

ドラ次郎 はい、約束ですよ

マドンナ うん、約束

BGM

ー朝ー

マドンナ (客席に座っているが誰にも見えない)

ヒロシ、サクラ、おばちゃん (登場)

ヒロシ おはようございます

ドラ次郎 お、ヒロシもいいのか

ヒロシ ご心配おかけいたしました、すっかり元気です

ドラ次郎 そりゃよかった、お前が一家の大黒柱なんだからよ、シャキッとしてみらわねーと

マドンナ 今日の新規感染者は全国で300人を超えました

ヒロシ 早速お弁当の試作品作り始めますんで、次郎さんも協力お願いします

ドラ次郎 おう任しとけ!

サクラ あれ幸子さんは?

ドラ次郎 居ねえの?

サクラ もう起きてるのかと思ってたけど

ドラ次郎 散歩かなんかかな

マドンナ 緊急事態宣言が解除され街に人が戻っています、中にはマスクをしない若者の姿が目立ちます

客1 (登場) おはようございます

ドラ次郎 おうねえちゃん、絵はどうした、出来たか

客1 もうちょっと時間頂ければ

ドラ次郎 じゃあなんだ、何しに来たんだ

客1 実はお弁当の案をいくつか持ってきました

ヒロシ 考えてくれたの？

客1 考えたっていうか、今インスタの時代なんで映えそうなお弁当の画像をいくつかプリントしてきました、よかったら（みんなに渡す）

サクラ これおしやれだね

客1 オムライス一つとってもデミグラスソースかけたり、トッピング増やしたりすると結構バリエーションも増えるんですよ

おばちゃん だね

客1 味も勿論大事ですけど、今は映える事が大事だと思うんです

おばちゃん 映える映えるって、なんだかハエみたいだね

ヒロシ おばちゃん違うよ、絵になるって事

おばちゃん じゃなんでそう言わないのさ

ヒロシ 若者はいろいろあるんだよ

マドンナ 医療現場は悲惨な状況です、医師、看護師、入院患者に次々と感染が拡大し大規模なクラスターが発生しました

警官 （登場） やってますね

ヒロシ おはようございます

警官 実はお弁当の参考になればとこれを（客1と同じ資料を出す）

サクラ ああありがとうございます

警官 今はインスタの時代ですからね

おばちゃん 映えだろ映え

警官 詳しいですね

マドンナ 観光地の駐車場は県外ナンバーの車で満車状態が続いています

ヒロシ じゃ取り敢えずこれとこれを参考にして作ってみようか

マドンナ 夜の街や飲食を伴う会食での感染が6割を占めています

ドラ次郎 悪いヒロシ、ちよっくら外出てくるわ

ヒロシ でも

ドラ次郎 すぐ戻るからよ（退場）

マドンナ このウイルスは人が動くことで人へと感染します。人が動かないこと、人と人とが会わない事が最大の防御策であり感染拡大防止に重要です（その場で着替えている）

おばちゃん そうだお巡りさん、行方不明の届け出とか出てないのかね

警官 というと

おばちゃん　この間から記憶なくしちゃった子うちで預かってるんだけど、家族が心配してないかと思ってね

警官　ここに居た女性ですか

おばちゃん　そう、もつと早く言やあ良かったね

警官　そういう報告は受けていませんが、再度確認してみます

各自作業をしている

マドンナの着替えが完了する

全員その場にいるが居ない

夜

マドンナ　(スプレー缶を振りまいている)

ドラ次郎　(登場) あんた、もうそんなことはやめなせー

マドンナ　自粛しろ

ドラ次郎　ニュースもそればかりだ

マドンナ　自粛しろ、ウイルスをまき散らすな

ドラ次郎　死ねだなんて書いたって、本当に死にてえのはあんたなんじゃないですかい？

マドンナ　人が集まるのは罪だ

ドラ次郎　そうかもしれない

マドンナ　マスクもしないでこのうのと

ドラ次郎　あいつらみんなバカなんだ、でもそんなことするあんたもバカだ、これでチャラにしませんか、みんなバカって事でこれまでの全部チャラにしませんか

マドンナ　そんな事出来るの

ドラ次郎　出来ますよ

マドンナ　優しいのね

タコ (登場し) 今日は逃さねーぞこのやろう (影を取り押さえる) 顔を見せやがれ

フードを取るとマドンナの顔が現れる

タコ 幸子さん

マドンナ ∴

タコ なんであなたがこんなことしてるんですか

マドンナ ∴

タコ 嘘だろ、なんかいつてくさいよ

ドラ次郎 タコ、もうやめろ

タコ だって、そりやないでしょう、ここで散々世話になって、それなのによくこんな仕打ちが出来るな

ドラ次郎 タコやめろ

タコ 土下座して謝れ、地べた這いつくばってみんなに謝れ

ドラ次郎 やめろ

タコ おまえみたいのは人間のクズだ、それわかってんのか

ドラ次郎 いい加減にしねえか馬鹿野郎、犯人探しみてえなことすんなつただろう

タコ 師匠、この人に惚れてるからってそれはないでしょう

ドラ次郎 うるせーバカ、そういう問題じゃねえんだよ

タコ じゃなんだよ

ドラ次郎 うるせー、だいたいおまえよくそんな口が聞けたな

タコ だってさ

ドラ次郎 元はと言えばおめーただのコン泥じゃねえか、いつからめーはそんなに偉くなった

タコ こいつと一緒にしないでくださいよ

ドラ次郎 おまえが今何をしたかわかるか、おまえは今人を裁いたんだ、恥ずかしいね、この世の中にクソしねえ人間がいるか、みんな飯食ってクソしてそれだけじゃねえか、クソが隣のクソの方がでえだくせーだ言っつんのと同じだ

タコ でも

ドラ次郎　でももへチマもあるか、幸子さんに謝れ

タコ　なんで俺が謝んだよ

ドラ次郎　謝れ

タコ　嫌だ

ドラ次郎　いいから謝れタコ…幸子さん、弟子の不始末は師匠の不始末だ、申し訳ございません

タコ　なんでドラさんが謝んだよ

ドラ次郎　おめえがやんねーからだろうが

おばちゃん、ヒロシ、さくら、客1、警官の姿がわかる

おばちゃん　なんだい騒がしいね

ヒロシ　どうかしたんですか

タコ　ヒロシさん犯人見つけました

マドンナが持っているスプレーに全員が気がつく

タコ　ひでーすよね、最悪だ

ドラ次郎　ヒロシすまねえ、犯人は俺だ、これまでの嫌がらせは全部俺がやった

タコ　ちょっと待ってよ

ドラ次郎　（マドンナからスプレー缶を奪い取り）いま現行犯で捕まってる、証拠全部幸子さんに取られたとこなんだ、なあタコ

タコ　いや

ヒロシ　どうして次郎さんがそんなこと

ドラ次郎　あれだ、いつまで経ってもお前ら俺の事赤の他人だと思ってるだろ、腹立ってな、みんな自粛してる最中に、のうのうと店なんか開けやがって、おまけに暖か仲良し家族だ、そういうの無性に腹立ってな

マドンナ　ドラさんやめて

ドラ次郎　おめえらも苦しめ、みんなと同じく、俺と同じく苦しめってな、本当に申し訳ねえ

マドンナ ドラさん頭なんか下げないで、皆さんわかってるでしょう、やったのは

客1 私です、私がやりました（ドラ二郎からスプレーを奪う）

マドンナ え！

客1 人間は飯食ってクソするだけですよね…ヒロシさん、サクラさん、おばちゃん、ごめんなさい、やったのは僕です

ヒロシ どうしてあなたが

客1 なんかストレスで、学校も行けないし

マドンナ 何言ってるの、私が全部

おばちゃん ヒロシ、サクラごめんよ、本当の犯人はあたしだ（客1から奪う）

ヒロシ おばちゃん？

おばちゃん あたしが全部しでかした事だ

マドンナ おばちゃんもやめて下さい

サクラ そうだよおばちゃん

マドンナ ごめんなさい

サクラ あたしのことかばわなくていいから（おばちゃんから奪う）

マドンナ サクラさん

サクラ 私がやりました。

マドンナ どうして

サクラ 暗いと不平を言うよりも、進んで明かりを付けましょう

タコ 何言ってるんですか、おかしいですよ

警官 全て聞かせて頂きました、一言よろしいでしょうか（サクラから奪う）

タコ まさか

警官 一連の犯人は私です

タコ なんで

警官 自粛警察ですから、警官である私がやりました

間

ヒロシとタコ以外、全員ヒロシとタコを見つめる

ヒロシ、タコ、見合い

ヒロシ 俺です（警官からスプレーを奪う）俺がやりました、全部自作自演です、お騒がせしてすみません

タコ以外全員、タコを見つめる

タコ ヒロシさん、みんなどうかしてますよ、犯人は、犯人は俺に決まってるじゃないです（ヒロシからスプレーをとる）俺コン泥ですよ、それを、みんなに許してもらったのに、そんなことも忘れて、すみません、すみません

ドラ次郎 やっぱりてめえが犯人だったか

タコ え？

ドラ次郎 お巡りさん、こいつとっとしよっぴいてください

警官 はい

タコ ええええええ

マドンナ 皆さんありがとうでも

ドラ次郎 （マドンナに抱きつく）

次々、その輪に人が抱きつき、塊になる

BGM

マドンナ 皆さん、これ、密ですよ

暗転

BGM

明転

おばちゃん、店の外で掃き掃除をしている

店内ーヒロシとサクラ、巻き尺を持ち測っている

ヒロシ 2Mのところに印して

サクラ ここ？

ヒロシ うん、バツテンかなんかでわかるように

サクラ はい

ヒロシ おばちゃんちよつといい

おばちゃん あいよ(店内に入る)

ヒロシ それでは今日から久々に店を開けます

サクラ (拍手)

ヒロシ 客席と客席、お客様とお客様との距離は必ず2M以上空けると、また注文を取る際は、お客様と対面しないよう、大きな声は出さず、小声で、お願いします

おばちゃん 面倒くさい話だね

客1(登場) いいですか？

ヒロシ いらっしやいませ、どうぞどうぞ

サクラ ヒロシさん対面してるよ

ヒロシ 失礼いたしました

客1 昨日はありがとうございます

ヒロシ 昨日？

客1 はい

ヒロシ 昨日、何かありましたか

客1 何って…ねえ

ヒロシ うん？

客1 シャッター綺麗になってたんで安心しました、いつものお願いします(席へ)

ヒロシ はあ(怪訝そうにカウンターへ)

サクラ どうしたの？

ヒロシ どうもおかしなお客なんだよ、妙に馴れ馴れしくて、いつものってなんだ

サクラ (水とメニューを持ち客1へ) いらっしやいませ、どうぞ、あの、いつものってなんでしたっけ

客1 サクラさんいつものホットコーヒーですよ

サクラ ああ

客1 ドラさんまだ寝てるんですか

サクラ え、何さんですか

客1 ドラさんですよ、ドラ次郎さん

サクラ ドラ次郎さん？

客1 はい

サクラ ちょっとわかりません、ごめんなさい

客1 わからないって、昨日までいましたよね

サクラ どこに？

客1 ここに

サクラ いいえ

客1 (スケッチブックを出し) この人ですよ

サクラ お綺麗な方ですね

客1 そっちは幸子さんで、隣の…あれ？

サクラ ごめんなさいね

客1 …

サクラ でも

客1 はい

サクラ なんとなく似てますね

BGM

客1 誰に？

サクラ 今頃どこフラフラしてるんだらう

客1 どういうこと〜

終わり